

～ All for one, One for all. ～

創世記 第一章 一節～五節

はじめに神は天と地とを創造された。地は形なく、むなしく、やみが淵のおもてにあり、神の霊が水のおもてをおおっていた。神は「光あれ」と言われた。すると光があった。神はその光を見て、良しとされた。神はその光とやみとを分けられた。夕となり、また朝となった。第一日である。



光の家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設
東京光の家会報

— 220 号 —

2023 年 1 月 1 日発行



2023年 おせちで明けましておめでとうございます！

新年あけまして
おめでとうございます

旧年中は当法人の社会福祉事業に対します格別なるご支援に、深く感謝致しております。

新型コロナウイルスも、感染者の増減をくり返ししながら、収束の兆しが見えない一年でした。

東京光の家では、利用者、職員ともに感染者が発生してしまいましたが、検査態勢、ワクチン集団接種を続け、影響を最小限に食い止めることができました。

一日も早い新型コロナウイルス蔓延の収束を願いながら、「生活に喜びを」を忘れない愛のある利用者支援を継続して参りたいと思っております。

皆様方のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和五年 元旦

社会福祉法人 東京光の家

役・職員一同



ボランティア活動余話

東京光の家ボランティア

大高 勲



新年あけましておめでとうございませう。

コロナ禍、ロシア禍と辛い話題が多かった昨年でしたが、そんな中でも明るさを失わない光の家園生の皆様にお会いすると本当に心と幸を頂いた感じがいたします。

私は今年六月で八十歳になりますが光の家の皆様とお付き合いが始まって二十五年が経過しました。

平成九年、光の家の至近距離に転居しました。ある日、定例の

避難訓練のお知らせがあり、ご近所付き合いのつもりで見学をさせていただきたいとお願いに伺ったところボランティア登録を勧められ、恥ずかしながらボランティア活動の本質も良く理解しないまま加入させていただきました。

初めてボランティア活動の舞台となったのは国立市の障害者施設で開催されたサウンドテニス（当時は盲卓球と呼ばれていました）の大会でした。もちろんサウンドテニスを拝見するのは初めてのことで、戦う選手の姿を見てその運動能力を目の当たりにして圧倒されたことを鮮明に覚えています。

私にとってはボランティア活動デビュー戦でしたが視覚障害をお持ちの方々の明るさや能力に感動し、活動を継続する決心をしました。

その後二泊旅行やバザー、夏

祭り、外出など色々お声がけいただき、ボランティアの経験を積んで行きました

そんなある日、ボランティア交流会の席上で朗読サークル「ひの」の方と巡り会いました。以前から朗読に興味を抱いていましたので同サークルに入会し今はその一員として神愛園、栄光園、新生園の朗読会にも参加しています。

同サークルは日野市の委託を受けて広報「ひの」の音訳版作成や独自の録音図書の発行など幅広く活動していますので、光の家のおかげで私の活動範囲も広がったと云えます。

また、私は国鉄・JR出身の経験を生かして月に二〜三回埼玉県大宮の鉄道博物館でガイドボランティアをしておりますが、視覚障害の方がお見えになった時も臆することなくご案内できると自負しています。これもひとえに光の家のおかげです。

もう一つ逸話があります。

JRの現職の頃ですから、まだ光の家とのお付き合いが始ま

る前ですが、ある日制服で駅構内を歩いていると白杖をお持ちのお客様がちよつと迷った様子でいらつしやつたので「どちらへお越しですか」と声をお掛けしました。するとお客様は一瞬ビックリされた様子を見せたあと「改札口へ行きたい」と言われたので手を取ってご案内しましたが、ビックリされた様子が印象に残りました。後で気づいたことですが「視覚障害の方をお助けする」という気持ちでお声がけしたのですが、その時お客様の中には私の制服姿は「映ってはいない」という認識がすつぱり抜けていたと言うことです。

それ以来視覚障害のお客様さまにお声がけする時は「駅員ですけれど」と付け加えるようにしました。今にして思えば「もっと早く光の家の皆様とお付き合いができていれば」ということです。

最近、個人としてのボランティア活動は減っていますが今後でもできる限り活動したいと思っております。



第 1 部「礼拝」月本先生講演

十一月末から続くコロナによる隔離体制が続く中、今年も光の家が大切にしてきたクリスマス



第 2 部「会食」2022 クリスマスメニュー

第二部の会食。今年も食事課の努力により、食べやすさとおいしさを両立した豪華なメニューが準備されました。元気な人も、

スが無事に行う事ができました。第一部礼拝は、月本昭男先生より「愛のあるところに神あり」と題して記念講演を頂きました。ロシアの文豪トルストイの作品をテーマに、身近な人への優しい行いにより、いつの時代にも、どんな境遇にあっても、イエス様を自分の心のうちに感じる事ができる、とわかりやすくお話いただきました。



第 3 部「祝会」聖歌隊

例年以上に多くの助けを受け、何より神様の力に守られ、無事

コロナに疲れた人も、ともにお腹と心が満たされ笑顔溢れる時間となりました。第三部祝会は、聖歌隊と新生園による演劇を動画で配信しました。聖歌隊はコロナの影響で全員での参加が叶わぬ中、その力強い歌声に勇気を与えられました。また演劇『もう一人の博士』では昨年月本先生の講話で話されたアルタバン博士の一生が描かれ、大きな拍手を受けました。



第 3 部「祝会」もう一人の博士 演劇



第 3 部「祝会」オンライン講堂会場の様子

にクリスマスを祝う事ができました事に感謝致します。クリスマス委員長 塚田光子





コーヒーカップ、ぐるぐる回すぞ～！



焼きたては何倍も美味しく感じます!!

十一月二十二日、からつとした秋晴れの中、就労ホームの皆でよみうりランドへ日帰り旅行に行ってきました。

よみうりランド到着後、全員で写真撮影してから、班ごとにいざ出陣！ランド内には絶叫系から緩やかな乗り物、体験型のアトラクションまでバリエーション豊かにあり、班ごとに相談しながら大盛り上がりの楽しい時間を過ごしました。

昼食はバーベキュー！じっくり焼けるお肉や野菜を前に会話も弾み、焼きたてをお腹いっぱい堪能しました。食後もアトラクションや軽食、お土産選び等を楽しみ、とても有意義な時間を過ごせました。

コロナ感染が拡大している中でしたが、最大限の対策をした上で開催できたことで良いリフレッシュになりました。楽しい時間を活に、また皆で仕事に励みたいと思います。

就労ホーム

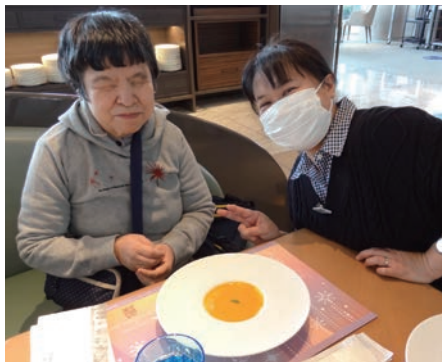
日帰り旅行

期間：令和四年十一月二十二日(火)
行き先：よみうりランド

栄光園

日帰り旅行

期間：令和四年十一月十日(木)
行き先：東京 お台場



きれいな盛り付けのかぼちゃポタージュ

栄光園では、例年泊りがけの旅行と、日帰りの旅行行事を行っています。どちらも年度ごとの希望制で、年によって、どちらか選んで参加することが可能です。今回は日帰り旅行として、都内・お台場方面で食事と散策を楽しみました。

施設を出発したバスは、首都高を経由して、ヒルトン東京お台場に到着。ハンバーグ、鯛、ポークから好みのメインを選んで、素敵なランチをいただきました。現在、栄光園では入所と通所の方は、



こんなところでのび太君に会えるとは！

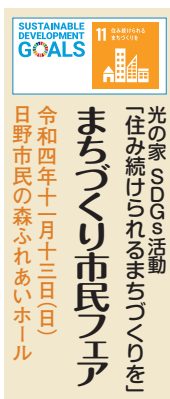
感染対策の一環で、別々の場所では昼食を摂っており、この旅行では久々に皆が同じ会場で食事を楽しむことができました。

おながが落ち着いたら、フジテレビを見物して、デックス東京ビーチ、ダイバーシティ東京プラザなどをグループで散策。潮風を感じての散歩や、買物をしながら一日を過ごしました。当日は天気も良く、日々の作業の良い気分転換とコミュニケーションの機会となりました。

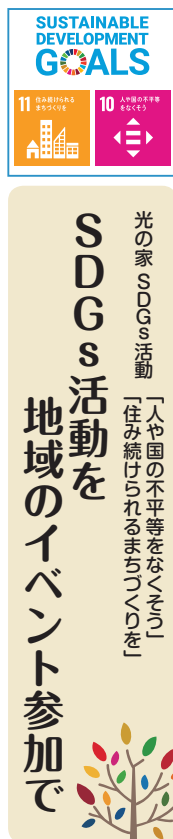


ゲームによるアイマスク体験

私たちは啓発活動としてアイマスク体験を企画し、見えない

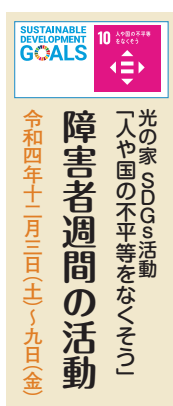


東京光の家では、「SDGs活動室」が設置され、地域に向けた貢献活動や障害者への理解・啓発活動を行い、障害者も健常者も共に生きる共生社会の実現を目指しています。



毎年設定されている障害者週間に向けた啓発活動として、日野市の差別解消推進係と連携。障害者理解の運動をいくつか行っています。

新生園で製作している陶芸作品を、市役所やイオンモール多摩平の森に展示していただきました。



感覚でオセロなどのゲームをしてみる、メモ帳作りや、歩行も見えない状態で体験いただきました。視力のない感覚を実感し、楽しんでもらいました。

また、最寄駅である豊田駅での「声かけサポート運動」は、視覚障害の方がホーム転落防止に対する周囲の見守りや声かけのお願いを、当事者自身が実際に出し、お願いをする活動です。駅長さん始め、地元日野のラグビーチーム「日野レッドドルフィンズ」の選手も一緒になって「声かけをお願いします!」とアピールしてきました。



市役所での作品展示



声掛けサポート運動

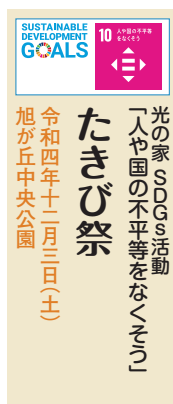


▲牛乳パック紙漉き体験

光の家の「ひまわり」の演奏▶



「牛乳パック紙漉き体験」でハガキ大の紙をその場で作る体験会は、小学生を中心に大盛況。そもそも光の家就労ホームで行っている紙漉き作業の理解・啓発に繋がり、実際に作業工程を説明すると、とても感心されていました。



利用者の声

新年の抱負

新生園
聖歌隊を
頑張っています

中野久美



聖歌隊発表の様子

私は、平成五年に入所して以来、聖歌隊に入っています。来年度で三〇年目になります。光の家に来てから歌い始めました。今はソプラノを担当しています。好きな讃美歌は、クリスマス讃美歌で、特に一〇三番（牧人ひつじを）と一二番（諸人こぞりて）が大好きです。

今年も健康に気を付けて歌い続けられるように頑張ります。

栄光園
新年の抱負

熊谷健



電車が好きな熊谷さん

私は新生園から栄光園に来て、初めてのお正月を迎えることができました。生活にも慣れてきて、毎日缶バッジを作る作業を中心に、頑張っています。将来はシヨップの仕事もやってみたいと思っています、一層努力していきたいです。

神愛園

ウィルスに負けずに
頑張ります！

成川節子

私は今年で七回目の年女になります。

栄光園から神愛園に来て早いもので三年半が経ちました。作業では手芸の紐切りと点字の献立表を切る二つの仕事を頑張っています。

与えられた仕事に感謝と責任を持って、出来るだけ健康にも気をつけて一年を過ごしたいと思います。



いつも感謝の気持ちで暮らしています

就労ホーム

色々な仕事に楽しんで
取り組めます。

山本華穂

私は、昨年二十歳になりました。昨年からカナンでは繁忙期の仕事に新たに取り組んでいます。

今年は、カナンの繁忙期でスベシヤルランチの盛り付けを丁寧に行えるように頑張ります。

二階作業では、昨年のバザーで評判の良かった、パラコードを使ったキーホルダーやミサンガを外部販売に向けて、たくさん作れるように頑張りたいです。



カナンのスペシャルランチや製品作りを頑張ります！



グループホーム

一人暮らしを
目指して

滝沢 海斗

光の家グループホームで暮らし始めて三年目になります。

僕は一人暮らしをしたいので、これから一人で出来ることをたくさん覚えて、アパートで暮らしたいと思います。部屋の掃除や洗濯物はきちんと出来るようになりたいです。今は職員さんにチェックしてもらいながら、お風呂掃除を毎日行っています。一人できれいに掃除ができるようにこれからも頑張ります。



みんなのためにお風呂掃除をしています

マッサージホーム

有言実行の年に

山田 由紀子

ネット社会になった今、スマホやパソコンを使うのが当たり前になってきました。以前はパソコンを使っていたましたが、マッサージの仕事にパソコンは必要ないと思っていたのでメールぐらいしかしていませんでした。

ですが、予約の管理ぐらいはパソコンでやった方がよいのではないかと言う話があり、昨年の後半から少しずつパソコンに取り組み始めたところです。

今年はパソコンを使えるように勉強したいです。



あらためて PC を学んでいます

地域との
合同防災訓練

令和四年十月十三日(木)



光の家では近隣自治体や企業との災害時の防災連携を図っており、その一環として合同防災訓練を行ってきました。昨今はコロナ禍の影響で十分な訓練が行えませんでした。今年は本来計画よりは縮小した形とはなりましたが、行うことができました。改めて連携の重要性、要領の確認が相互にでき、意義深い訓練となりました。



消防隊が参加しての久しぶりの合同防災訓練

寄付者名簿

令和四年十月三日

令和四年十二月八日

米倉 清治様 米 六〇kg
阿久津 隆隆様 柿 六三個
(有)波多蔵木工所様 マスク 四〇箱

上林 廣子様 マスク 五箱
鈴木 京子様 柿 八八個

阿久津 隆隆様 柿 五〇個
井川 幸雄様 りんご 二五三個

浅石 常勝様 米 三〇kg
佐藤 恵様 りんご 十一個

細川 武雄様 早戸瓜 二〇個
石川 紀子様 りんご 五六個

大越 智子様 電子ピアノ 一台
渡辺 孝子様 塩鮭 二〇〇切

広瀬 美幸様 大根 五八kg
佐藤 幸則・芳子様

みかん 四四〇個

※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。





表彰式に光バンドが花を添えました

光バンドは昨年度の日野市表彰式で文化功労賞を頂きました。昨年度はコロナ禍で表彰式は会議室で行われ、代表の高橋正秋さんが出席しました。しかし、今年は例年通り日野煉瓦ホールで行うという事で、日野市から昨年受賞した光バンドには非演奏して頂きたいという依頼があり実現したものです。光バンドが演奏する事で、日

**日野市表彰式で
光バンドが演奏しました。**

令和四年十一月三日(木) ひの煉瓦ホール



光の家のウクライナ義援金を大坪日野市長にお渡ししました。

野市で生活する東京光の家の利用者の事を、市民に知って頂くという事はとても意義のある事だと思いました。

また、当日は光バンドの楽屋に大坪市長はじめ副市長、議長も激励に来て下さいました。光の家の信仰会で集まったウクライナ義援金を、日野市へ避難しているウクライナの方への支援金として、石渡理事長から大坪市長へ寄贈させて頂きました。

第26回 手さぐりの作品展

【日 時】2023 年(令和 5 年)2 月 17 日(金)～ 19 日(日)

午前 10 時～午後 7 時 ※初日は 3 時～

【会 場】イオンモール多摩平の森 3F イオンホール

【問合せ】東京光の家 電話 042(581)2340

東京光の家の利用者が、作業訓練の中で作った陶芸、木工、籐細工、手芸、紙の作品を展示します。是非、作品を触って手で視覚障害者の利用者の方々が作った作品を鑑賞してください。



あとがき

令和五年の新年号をお届けいたします。

今回は、光の家で長年ボランティアとしてご尽力頂いていらっしゃる大高勲ボランティアにご寄稿いただき、光の家でボランティア活動への参加の経緯と、光の家でのボランティア活動を振り返っていただきました。

東京光の家では、このように職員と同じ熱意で利用者の方々のために活動されるボランティアのみなさんが、大きな力となって光の家の福祉活動を支えて頂いています。ボランティアの皆様も健康にお気を付け頂き、これからも活動を続けて頂きたいと思っています。

(広報活動委員)

発行 一九九一〇〇六五

東京都日野市旭が丘一七七一七
社会福祉法人 東京光の家

電話 〇四二(五八二)二三四〇
FAX 〇四二(五八二)九五六八